

中央大学 vs 流通経済大学

11月17日(日)
11:30K.O.
たつこのこ

2試合連続で2点のリードを追いつかれるという、悪いムードの中で前節の早大戦を迎えた中大。前半40分に先制点を奪い、後半4分に追加点と理想的な進め方をしながら、11分、40分に失点し、またもや2点のリードを追いつかれて2-2の引き分けに終わった。

「やっていることやゲーム運びで後半、体力的に落ちてしまう部分はあるが、残り5分というところで集中力を切らしてしまった」(白須真介監督)

ここ3試合を振り返ってもわかるように、前半はいい戦いができているだけに、これを後半も続けられるようにしたい。インカレ出場権争いも非常に熾烈だけに、優勝の可能性がなくなったとはいえ残り2試合を全力で戦わなければいけない。

「相手が前がかりになったときに耐える強さをつけたい」(白須監督)

総理大臣杯で優勝し、インカレ出場を決めている流経大だが、リーグ戦は苦闘が続いた。しかし、16節で専大に0-4の大敗を喫したあとは、メンバーを入れ替えながら戦い、4試合で2勝2分。ここ2試合は2連勝と、ようやく結果がついてくるようになった。

「勝点3が取れ、正式に残留が決まり、ほっとしてい

る。積極的にボールを奪えた場面もあるし、奪えなくても後ろが崩れることなくスライドして、しっかりとスペースを埋めていた。攻守にわたってイメージしていたとおりで、90点ぐらいの試合ができた」(中野雄二監督)

インカレに向けて、ようやく攻守ともに形が整ってきた手応えを得た。一方で、

「1失点のところは反省。マークのずれやポジショニングのずれが出てしまったので、修正したい」(中野監督)

警告3回: 岡崎亮平、細見諒(以上中大)

前回の対戦: 中大0-0(シュート数2-9) 流経大 中大 流経大

6. 高瀬	10. 澤田	23. 森保	35. 佐々木
12. 小出			5. 川崎裕
8. 田辺		25. 古波津	
1. シュミット	25. 渋谷	11. 川越	36. 富樫
4. 細見			7. 中山
24. 岡崎			39. 塚川
31. 高橋	14. 古橋	40. 川崎雄	37. 鈴木

早稲田大学 vs 桐蔭横浜大学

11月17日(日)
13:50K.O.
たつこのこ

必死にトップの背中を追った早大だったが、前節、専大が桐蔭大を下して優勝を決めた。しかも、同時間帯に行われた自分たちのゲーム(中大戦)も2-2のドロー。この結果は、ここ2年の早大を象徴しているといっている。どこのチームよりも安定感のある早大だったが、肝心なところで勝ちきれないことが多く、一度も首位に立つことなく優勝を逃してしまった。

「前半、自分たちの時間があっても点を取れず、逆に失点してしまい、後半の立ち上がりにも失点してしまった。最後はパワーでゴールに向かっていったが、引き分けに終わって悔しい結果」(古賀聡監督)

2点のリードを同点に追いつく粘りは見せたが、結局、奮闘もここまで。ここ4試合で1勝2分1敗と終盤でなかなか結果を出せず、専大を楽にさせてしまった。「優勝はなくなってしまったが、支えてくださる方がたくさんいる。その方たちのために、歓喜の瞬間をもたらせるように最後まで頑張りたい」(古賀監督)

前節の専大戦は0-4の敗戦となった桐蔭大。目前での胴上げを許してしまった。しかし、スコアほどの差がなかったのも事実。

「入り方は悪くなく、拮抗した展開だったし、チャンス

もないわけではなかった。セカンドボールもかなり拾えていた。その中で、PKから先制点を与えてしまったのが響いてしまった」(八城修監督)

それでも1点ビハインドの状況で、前線のスピードを生かしてゴール前まで攻め込み、GKと1対1の状況まで作りだした。そこでゴールを奪えなかったことが結果、敗戦につながってしまったが、チームの形はできているだけに、これをしっかりと続けていきたい。

警告3回: 中田航平(早大)、平山玲央、山根視来(以上桐蔭大)

前回の対戦: 早大1-1(シュート数6-2) 桐蔭大 早大 桐蔭大

6. 三竿	8. 近藤洋	8. 山崎	18. 剣
3. 金沢	10. 榎本	20. 今関	6. 福島
	5. 池西		5. 金子
21. 阿部			1. 島崎
	4. 中田		35. 大野
2. 奥山	25. 宮本	10. 坪井	3. 香西
26. 西山	7. 近藤貴	24. 石堂	16. 長谷

JR東日本カップ 2013 第87回 関東大学サッカーリーグ戦

OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.25-NO.21 Division1



編集: 加茂郁実 発行: 関東大学サッカー連盟 協力: 関東大学サッカーサポーターズクラブ

専大が3連覇を達成!

いよいよ残り2節となった「JR東日本カップ 2013 第87回 関東大学サッカーリーグ戦」。前節は専大の優勝決定戦に注目が集まったが、まずはその試合から振り返ってみよう。

勝てば2位・早大の勝敗にかかわらず、その場で優勝が決定する専大。桐蔭大との対戦となったが、両チームともに出場停止選手を出し、思うようなメンバーが組めない状況での試合となった。この日の専大がうった手は、3バックに戻した3-5-2システム。これが功を奏し、12分にPKから先制すると、前半のアディショナルタイムにも追加点を奪った。さらに後半6分、15分と加点して、4-0で桐蔭大を下し圧勝。厳しい試合が多かったが、4月の開幕戦から一度も首位の座を明け渡さない、見事な4連覇達成だった。桐蔭大もチャンスがなかったわけではないが、失点の時間帯が悪く大敗。1部残留を確定させることはできなかった。

2位の早大は、インカレ出場にける中大と対戦。絶対に勝たなければいけない試合だったが、前半40分、後半4分に失点。そこから盛り返して同点に追いついたものの、粘りもそこまでで2-2の引き分けに終わってしまった。しかし、早大はインカレ出場が確定。中大は3試合連続で2点リードを追いつかれたように、ガックリくるドローだった。

得点ランキング

仲川 輝人(専大)	15点
長澤 和輝(専大)	12点
榎本 大希(早大)	10点
武藤 嘉紀(慶大)	9点

アシストラランキング

橋本 拓門(国士大)	7アシスト
仲川 輝人(専大)	6アシスト
以下5アシスト4人	

後半戦無敗の国士大は、残留争いの渦中にある慶大との対戦。国士大が後半30分にゴールを決めて2-1とし、粘る慶大を振りきり3位まで順位を上げた。慶大は最下位と厳しい戦いが続く。

こちらも残留争いに必死の東洋大と筑波大の一戦は、東洋大が粘り強いプレーを発揮し、筑波大を2-1で下して11位に浮上。10位・日体大との勝点差は2ポイントに開いた。筑波大はインカレ出場に向けて残り2試合、ハードな戦いとなる。

インカレ出場を目指す明大と1部残留を狙う順大との一戦は、順大が守備を徹底。その牙城を明大が崩せず、0-0のスコアレスドローに終わった。どちらもインカレ、残留に向けて厳しい状況が続く。

JR東日本カップ 2013 [第87回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	チーム名	専大	早大	国士大	筑波大	中大	明大	流経大	桐蔭大	順大	日体大	東洋大	慶大	試合数	勝数	分	負	得点	失点	得失点差	勝点
1	専大	201 11月24日	201 001	201 002	201 2A2	401 1A1	203 400	602 400	201 201	1A1 11月17日	301 201	601 100	20 20	14	3	3	51	23	28	45	
2	早大	102 味フィ西	201 2A2	100 103	201 2A2	201 1A1	300 003	1A1 11月17日	2A2 202	302 302	201 201	20 20	10	6	4	32	27	5	36		
3	国士大	102 100	102 2A2	201 2A2	201 1A1	201 201	102 500	101 11月16日	001 401	005 11月23日	201 201	203 201	20 20	9	4	7	33	29	4	31	
4	筑波大	102 200	001 301	102 1A1		002 1A1	0A0 11月16日	1A1 1A1	100 401	301 11月23日	302 301	5A5 102	102 300	20 20	8	6	6	35	26	9	30
5	中大	205 2A2	102 2A2	102 2A2	200 1A1		301 103	0A0 11月17日	1A1 201	200 102	001 11月24日	1A1 500	100 601	20 20	7	7	6	36	27	9	28
6	明大	104 1A1	102 1A1	201 102	0A0 たつこのこ	103 301		0A0 401	302 11月23日	401 0A0	001 001	001 302	2A2 200	20 20	7	7	6	29	25	4	28
7	流経大	302 004	003 300	1A1 102	1A1 たつこのこ	0A0 たつこのこ	0A0 104		103 100	0A0 2A2	002 301	100 200	301 11月23日	20 20	7	7	6	24	27	-3	28
8	桐蔭大	206 004	1A1 たつこのこ	100 005	001 104	1A1 102	203 味フィ西	301 001		302 201	100 0A0	102 003	201 401	20 20	7	3	10	25	39	-14	24
9	順大	102 102	100 2A2	500 古河	103 味フィ西	002 201	104 0A0	0A0 2A2	203 102		1A1 300	2A2 102	602 001	20 20	5	6	9	32	31	1	21
10	日体大	1A1 BMWス	1A1 203	100 104	203 味フィ西	100 100	0A0 103	200 0A0	001 003	1A1 003		301 2A2	102 203	20 20	5	6	9	23	31	-8	21
11	東洋大	103 102	001 203	102 たつこのこ	5A5 201	1A1 005	100 203	001 002	201 300	2A2 201	103 2A2		102 11月17日	20 20	5	4	11	29	40	-11	19
12	慶大	106 001	102 102	302 102	201 003	001 106	2A2 002	103 たつこのこ	102 104	206 100	201 302	201 三ツ沢		20 20	6	1	13	25	49	-24	19

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

体育会学生のための
リクナビ就職エージェント

悩むより、走り出そう。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」
http://job.rikunabi.com/agent/athlete/info02/

RECRUIT

明治大学 vs 筑波大学

11月16日(土)
13:50K.O.
たつこの

「とにかくシュートがゴールに入らない」
とは前節の順大戦後、明大・神川明彦監督が発したコメント。多くのチャンスを作ったが、結果は無得点。0-0の引き分けでは、ため息が出るのも仕方がない。「今年の課題だった得点力のところを1年かけて埋めようとしてきたが、埋めきれなかった」（神川監督）

1点入れれば状況が一変するだけの力は持っているが、なかなかゴールが入らない。この間に相手も自信を待って守り、ますます苦しい状況に追い込まれる。「先制すれば相手も攻めてこなければいけないので、カウンターも仕掛けられる。スコアが動かないと相手も動かないので、戦意をそぐことができない」（神川監督）

インカレ出場に向けて、負けられない戦いが続く。守備はある程度安定しているだけに、いかに点を取れるかが今後のカギだ。

「結果は非常に残念。チャンスがなかったわけではなかった。そこを決められるか、決められないかだったと思う」（筑波大・中山雅雄監督）

前節は残留争い中の東洋大とのゲームとなった筑波大だったが、結果は1-2の敗戦。前半9分に先制点を奪われながらも、45分に同点に追いついたところまでは

よかった。しかし、後半にさらに1失点。「決して悪かったわけではない」（中山監督）

という試合内容だったが、ケガ人の影響もあって以前に比べると攻撃に迫力がなく、チャンスの回数自体も少ないのが気がかりだ。

「ちょっとしたミスが起こっているの、その回数が減るともっとチャンスを作れるはず」（中山監督）

出場停止：谷口彰悟（筑波大）、警告3回：和泉竜司（明大）、上村岬、中野嘉大、早川史哉、若杉拓哉（以上筑波大）
前回の対戦：明大0-0（シュート数14-9）筑波大

明大		筑波大	
15. 高橋	27. 石原	25. 武内	18. 早川
4. 小出	33. 苅部	19. 若杉	17. 西村
	16. 差波		7. 葺本
1. 三浦			1. 神舎
	6. 水野		2. 田代
3. 山越	8. 和泉	14. 前原	5. 車屋
12. 室屋	34. 田中	13. 曾山	12. 三丸

慶應義塾大学 vs 東洋大学

11月17日(日)
13:50K.O.
三ツ沢

「すごくいい試合だったので、満足している」（慶大・須田芳正監督）

リーグ戦終盤になって、ようやく自分たちらしい戦いができている慶大。前節の国士大戦は、いい試合展開をしながらも1-2の敗戦。後半にあったPK失敗が悔やまれるが、ここまでいい形で試合を進めていることができているだけに、須田監督も冒頭のコメントを発した。それだけに、自信を失わずに続けていきたいところ。

「後半、特にシュートの場面を作り出すことができていた」（須田監督）

そこで取りきれるかどうかが、残り2試合の大きなポイントになるのは間違いない。

「残留に向けて頑張りたい」（須田監督）

現在11位と、こちらは残留に黄信号がともっている東洋大。前節の筑波大戦は、「立ち上がり、集中して入ろうと伝えた。みんながいい立ち上がりをしてくれ、先制点も取れた。試合としてはいい進め方ができた。それが勝利に結びついた」（古川毅監督）

全員がハードワークして、最後までボールに対してプレッシャーをかけ続けたことが、この勝点3につながっ

た。とはいえ、まだまだ降格の危機は続く。「時間帯ということは常々伝えているが、前半終了間際まで1点リードしていながら、CKから失点してしまった。あれをきっかけに逆転されてもおかしくないところだった。少しでもスキを与えないようにゲームを進めたい」（古川監督）

両チームにとって大一番のこの試合。負けたチームは崖っぷちに立たされるだけに、今節注目のカードだ。
警告3回：久保飛翔、松下純士（以上慶大）、鈴木健士、仙頭啓矢（以上東洋大）
前回の対戦：慶大2-1（シュート数7-10）東洋大

慶大		東洋大	
4. 保田	5. 増田	11. 黒須	7. 馬渡
22. 久保	9. 平戸		6. 石川
	8. 松下		10. 桑田
12. 福本		13. 川森	4. 郡司 1. 浅沼
	20. 端山		8. 年森
13. 望月	10. 武藤		5. 藤井
19. 溝渕	2. 岩田	29. 仙頭	16. 筑井

順天堂大学 vs 国士舘大学

11月16日(土)
13:50K.O.
古河

リーグ戦終盤になって、残留争いに巻き込まれてしまった順大。前節の明大との一戦は0-0のドローに終わった。

「今、できるのは守備のことしかない。急に点を取れるチームにはならない。後ろのラインの高さと、中盤のボランチを含めたラインの距離のトレーニングをした。そこからひょっとしてチャンスが生まれればいいと思うぐらいで、失点しないというサッカーをベースに考えてやった」（吉村雅文監督）

それだけに無失点で乗りきり、勝点1を積み重ねたところは評価できるだろう。一方で、残り試合は攻撃面をどうするのか。

「ボールを取ったあとに一つの配球でチャンスが作れないわけではないが、動き出しとサポートが必要。もう少し前で時間を作りたいし、一つの単純な動きでは難しい。ハーフウェイを越えて幅を作りたいが、多くを求めると混乱するので、まずは守備から」（吉村監督）

徹底した守備で残り2試合を戦う。

後半戦、負けなしと好調の国士大。順位も3位まで上げた。一方で、終盤はなかなか勝ちきれない試合も多く、前節は残留争いをしている慶大の前に苦しんだ。そ

れでも終盤に何とか追加点を挙げ、後半の相手のPKもはね返して試合をモノにした。

「勝ちたいという気持ちが強く見えた。ただ、相手に攻められているときに失点しないことが望ましい。相手より出足が遅れていた」（細田三二監督）

というように反省点も多いが、とにかく後半戦好調だけにインカレでどれだけできるかにも注目が集まるのは確か。まずはインカレ出場を確実なものにしたい。

警告3回：宮本和輝（順大）、進藤誠司（国士大）
前回の対戦：順大5-0（シュート数12-2）国士大

順大		国士大	
13. 宮本	7. 和田	26. 佐々木	2. 石川
5. 新井		16. 平松	13. 仲島
	14. 長谷川		20. 松本
21. 大畑	15. 青木 11. 原田		21. 久保田
	8. 天野		7. 橋本
3. 清水		10. 新村	4. 今瀬
16. 吉永	10. 井村	14. 進藤	12. 加藤

専修大学 vs 日本体育大学

11月17日(日)
13:50K.O.
BMWス

結果だけ見れば、圧倒的な強さで3連覇を達成した専大。前節もディフェンス陣に二人の出場停止選手を出していただけに、周囲からは不安視する声もあったが、結果は桐蔭大に4-0の圧勝を飾った。特に、今シーズンを引っ張った長澤和輝（4年）、仲川輝人（3年）がそれぞれ2ゴール。今季を象徴する優勝決定試合だったといえる。残り2試合を残しての優勝となったが、決してここで手を緩めるようなことはしない。

「個人タイトルがかかっているし、インカレに向けてやらなければいけないこともある」（源平貴久監督）

トーナメント戦となれば、守備面に不安を抱えていると勝ちきるのは難しい。それだけに、本来なら守備面を再整備したいところだが、「今から守備を徹底するのは難しいので、失点しても勝ちきれぬ攻撃力をさらにつけていきたい」（源平監督）

前節の流経大戦は1-3の敗戦を喫した日体大。ここ2試合は守備陣が奮闘して無失点に抑えていただけに、再び3失点とディフェンスが不安定になってしまったのは頭が痛い。

「前半から相手に押し込まれる時間帯が多くなってしまった。1失点目はFKから。すごくもったいない。後半

は風上でチャンスを作るプランだったので……」（倉又寿雄監督）

前半37分に失点してしまい、立て続けに41分にも失点。結果的にこれが響いてしまった。順位は10位とまだ1部残留圏内だが、11位との勝点差はわずかに2ポイント。今節は下位の東洋大と慶大が直接対決で、必ず勝点を重ねるだけに、何としても勝っておきたい試合。
警告3回：仲川輝人、星野有亮、前澤甲気（以上専大）、阿部潤、宮内啓汰（以上日体大）
前回の対戦：専大1-1（シュート数6-6）日体大

専大		日体大	
	12. 小口	7. 梅村	24. 横野
15. 篠崎			
	11. 前澤	11. 北脇	4. 菊地
	8. 下田		6. 石井
1. 福島	6. 河津 7. 長澤		21. 大野
	14. 星野		10. 稲垣
	10. 仲川	9. 田中	5. 中西
44. 中村			
	2. 北爪	15. 阿部	2. 宮内

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想